

## 【南九州地区納税貯蓄組合連合会会長賞】

### またどこかで

小林市立西小林中学校

三年 久留木 菜摘

「ようやく新刊出た〜」とワクワクしながら大好きな漫画を手取る。そして、レジへ持つていき、お会計を済ませる。その時に目につく税込という文字。正直、嫌な文字だった。理由は単純で税抜きの方が欲しいものが安くたくさん買える。最近では、増税という言葉をよく聞くようになった。そのたびに周りの大人たちは生活の心配をしていた。私自身も不安だった。

ある日、私は足を痛めて病院に行った。前に誰かが診察代が高いと言っていたのを小耳に挟んでいたため、どのくらいかかるのかと思いい母に聞いてみると800円と割安でとても驚いた。その理由を聞くと、中学生までは何回行っても一回の診察代は800円で安くなっている分は税金でまかなわれているそうだ。私はいつも払っている税金がこんな形で使われていることを知らなかった。身近な税金の使われ方を考えると、義務教育の間は教科書などが無料になったり、学校のテレビなどが税金で購入されていたり、たくさん浮かんだ。ここから私の税金への考え方が少し変化した。税金があることで、生活費の減少や出費が増えるなど苦しい面もあるが、そのおかげで私たち学生は夢を見ることができ、困ったとき税金で樂をすることができるといふ、良い面もたくさん見つけれられた。

さらに、父が一番助かっている税金の使い方を教えてくれた。それは、インフラだと言う。父が言うには、インフラは道路だけでなく、水道、電気など私たちの生活に深く関係しているもので、税金はそれを守るために必要だそうだ。この話を聞いて、確かにインフラがないと私たち国民は苦しい生活を送ることになると分かった。多くの人が生きるために税金は役立っていて、知らないうちにたくさん助けられていることに気づかされた。そんな税金を不正に使う人をニュースでよく見るが、その不正で使われたお金は国民全員が幸せになるために使われるべきで、決して一部の人のためにあるものではないと考える。

突然だが、私の夢は漫画家だ。その夢を叶えるまでには多くの紙やペンなどが必要とするだろう。そのたびに、税金がかかり出費は底を知らないが、親や税金で支えてもらっているということを忘れずに、粘り強くやっていこうと思う。

大好きな漫画を手に取り、税込という文字を目にする。そして、払った税金が誰かの背中を押したり、自分たちの生活を支えてくれたりと、思考を巡らせながら、またどこかで、という思いを込めて「お会計おねがいします！」